

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

9月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「キアシシギ シギ科」

旅鳥。全長 25cm。黄色い足が目立つ中型のシギ。干潟や砂浜などでカニや昆虫類を採食する。



「ソリハシシギ シギ科」

旅鳥。全長 23cm。キアシシギと似ているが少し小さく、長めの嘴が反っているのが特徴。



「ショウリョウバッタ バッタ科」

全長 40-82mm。とんがり頭と長い後脚腿節が特徴。メスはオスの倍ぐらいの大きさになる。

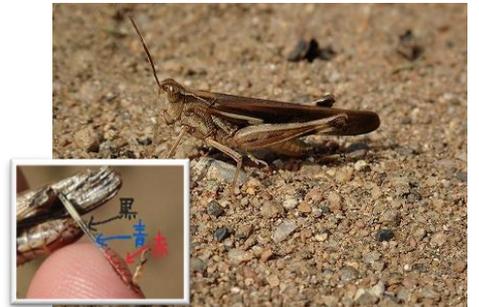


☆「ホルトノキ ホルトノキ科」☆
江戸時代の学者平賀源内がオリーブと間違えて命名。[オリーブの木]→[ポルトガルの木]→[ホルトノキ]



「ウスバキトンボ トンボ科」

夏の終わり頃から群を成して出現する。分類上アカトンボではないが、「赤とんぼ」と呼ばれる事が多い。



「マダラバッタ バッタ科」

全長 26-35mm。後脚のすねの部分が赤・青・黒とまだら模様になっていることから名付けられた。



☆「アキノタムラソウ シソ科」☆
多年草。花の大きさは 10-13mm。学名は (Salvia japonica) で、園芸植物のサルビアと同じ仲間。



「サフランモドキ ヒガンバナ科」

江戸時代に観賞用として渡来した中央アメリカ原産の多年草。野生化して人家周辺などでよく見られる。



☆「センニンソウ キンポウゲ科」☆

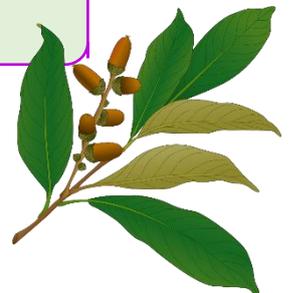
常緑つる性の半低木。直径 2-3cm の白い花を多数つけよく目立つ。園芸植物のクレマチスと同じ仲間。

☆印はビジターセンター周辺でも見られるので、車イスで観察することも可能です。

宇久井ビジターセンター周辺では、秋ならではの鳥や昆虫、植物に出会えます。皆さまのお越しを職員一同お待ちしております(^o^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2024年9月前半号



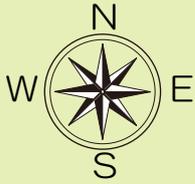
吉野熊野国立公園 宇久井半島

秋版

フェリーターミナル方面
通行できません

<散策時間の目安>

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

上野展望台

赤灯台

地玉(じこく)の浜

千尋の浜

(上地の浜)

松尾展望広場

外の取



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

灯台まであと4分

木のすき間から浜が見えます。

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ

木のすき間から
海が見えます。

南紀勝浦
休暇村

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヤブツバキ群生地
足元注意

上野展望台
防空監視哨

至休暇村

マルバウツギ

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ヒサカキ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

ツツブキ

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

オオキンカメムシ

タフノキ

シロダモ

ツツブキ

シロダモ

トベラ

ホルトノキ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

マテバシイ

ウバメガシ

ヤマモモ

トベラ

ヤブツバキ

ヤマモモ

ハラシダ

ヒサカキ

モチノキ

ヤマモモ

ハゼノキ

ヒサカキ

エソビタキ・コゲラ

シロダモ

シロダモ